

課題対応取組み報告書

【共通】

名称	住吉区東地域包括支援センター
提出日	令和 6 年 6 月 6 日

カテゴリー (※主なものをひとつチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 地域や専門職とのつながり等 <input type="checkbox"/> 認知症高齢者等の支援 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input checked="" type="checkbox"/> 社会資源の創設 (居場所づくり等) <input type="checkbox"/> 自立支援・介護予防・健康づくり等
活動テーマ	社会的に孤立している人と地域との間に物理的にも心理的にも距離があるために地域住民と専門職が共有する場を創出する	
地域ケア会議から 見えてきた課題	①キーパーソンの不在。それに加えて、キーパーソンが、金銭を搾取している疑いがある等、役割を果たしておらず、キーパーソンが実質不在であるケースが目立つ。地域の中で本人や世帯を支えるネットワークの構築が必要である。また地域住民が地域に住み続けられるように人生をどのように送りたいのか地域住民が考える機会を提供し、どのような社会資源があるのか啓発活動をする必要がある。 ②判断能力の低下から曜日の認識やゴミの分別が難しくなり、ゴミが捨てられず、ゴミ屋敷状態になっているケースもあった。地域住民に地域の中につなげる場の情報を提供すると共に地域の中で社会的孤立を防ぐネットワークの構築が必要である。	
対象	地域住民	
地域特性	公営住宅やマンション等の集合住宅が多く、OsakaMetro御堂筋線沿いであるため、利便性が高く、短期の入居者、単身者、高齢者が多く、自治会加入率の低さからわかるように、地域住民同士の関わりが希薄である。 住吉区東地域 (長居・苅田北・苅田) は住吉区12地域の中で、自治会加入率が30%前後と最も低い3地区である。(住吉区全体50.2%) また、集合住宅は80%～85%と区内で最も高い地域である。	
活動目標	今まで取り組んできた小地域でのネットワーク活動の再稼働に向けて、地域住民や関係機関と連携し、再築に取り組む。	
活動内容 (具体的取組み)	・生活課題を抱えた住民が他の地域住民とつながり、関わりを持てる機会や場所が重要になっている。顔の見える関係づくりを目的に苅田北地域市営住宅の住民や周辺の地域住民を対象に誰もが参加できるごちゃまぜ食堂を毎月1回実施していく。高齢者の孤立化リスクを低減し、生活課題を抱えた早い段階で関わりを持てるように顔を会わせて交流することができる新たな場を創る企画をしていく。 「いのち輝く折り鶴100万羽プロジェクト」大阪・関西万博500日前のイベントに参加 ・ツルナリエの圏域内の活動が軌道に乗れば、区全体へと波及させ、あらゆる関係者・地域住民に発信し、活動を通じて、社会的に孤立しがちな多くの認知症の方や高齢者が社会とのつながりを感じ、埋もれがちな「声なき声」を折り鶴にのせて、発信していく。	
成果 (根拠となる資料等があれば添付すること)	法人全体で取組んでいる、ごちゃまぜ食堂は、大学サークルとのコラボ企画となり、月1回、年間12回の実施となる。約200名の参加となっている。周知等もSNSから地域の掲示板等で行い、法人理念でもある「0歳～100歳の地域の結び目」の具現化した取組みとなり、幅広い多様な方々の参加となっている。さらに、この取組みから相談援助となるアプローチも生まれている。 ツルナリエの活動は、2023年5月20日、大阪万博開幕2年前企画「いのち輝くツルナリエ2023春～2万羽の折り鶴の花道～」完成セレモニーに出席 (折り鶴を届ける)。イズミヤショッピングセンター門真がパピリオンに。区内介護事業所 (特養等) 及び隣接区介護施設にも波及し、9月にも届けた。当法人の機関誌やHPを観て感銘を受け、郵送で届けて頂ける方も在り。介護施設へは企画説明、鶴を繋ぐ作業の仕方などレクチャーに伺った。入居者からは折鶴を通して社会との繋がりを実感できたことと喜ばれている。	
今後の課題	介護予防的な視点から見ても、一般コミュニティの構築が必要。既存の地域諸団体が自治会ベースである為、加入率の低下及び役員等の後継者不足等により、弱体化傾向にあるので、地域活動協議会への協力、協働は必須である。 一方で緩やかな関係づくりは世代を越えた関わりの中で、課題の抽出、啓発、教育等に関係した課題が残る。 今後も「場」創りを継続し、継続の関係性の中から現れる (見えてくる) 課題を地域住民を専門職だけでなく、地域住民と共に解決していく活動や啓発が子ども、若者支援、福祉教育の推進等につながると思われる。	
※以下は、区運営協議会事務局にて記入		
区地域包括支援センター 運営協議会開催日	令和 6年 7月 18日 (木)	
専門性等の該当 (※該当個数は問わない)	<input checked="" type="checkbox"/> 地域性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続性 <input checked="" type="checkbox"/> 浸透性・拡張性 <input checked="" type="checkbox"/> 専門性 <input checked="" type="checkbox"/> 独自性	
評価できる項目 (特性) についてのコメント * 今後の取組み継続に向けて、区 地域包括支援センター運営協議会 からの意見等を記載。	・ツルナリエの活動は参加しやすく、つながるきっかけになればいい。 ・地域住民を対象に子ども取り込んで活動されていることが特徴で、世代を超えたかかわりは母体法人の強みを活かしており、評価できる。福祉教育や若年支援、ヤングケアラー問題やこれからの福祉の担い手不足など、若年者を巻き込んだ活動は今後に期待できる。	